

令和2年度 基本評価調書

施策名	道営競馬の推進	所管部局	農政部	作成責任者	農政部長 小田原 輝和	施策コード	06 - 07
総合評価	概ね順調に展開	照会先	競馬事業室 (内線27-105)	関係課	競馬事業室	政策体系コード	2(1)A

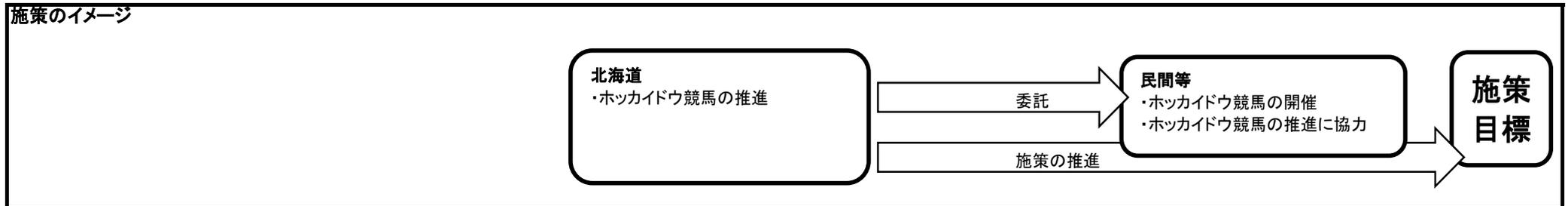
Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

1 目標等の設定

現状と課題	施策目標	施策の予算額(千円)	
<p>・「北海道競馬改革ビジョン」や「北海道競馬推進プラン」など長年にわたる改革により、平成25年度(2013年度)から単年度収支が黒字になるなど、経営状況が改善しつつある。</p> <p>・ホッカイドウ競馬を取り巻く環境は、道内発売が減少し、発売動向が景気に大きく左右されるなど、今後の発売環境も不透明な状況である。</p> <p>・軽種馬生産頭数が全体に減少している中、競馬の基本となる競走馬の確保が大きな課題として浮上している。</p> <p>・今後とも安定的に継続して事業を展開していくためには、取り巻く環境に柔軟かつ適切に対処しながら、常にお客様へのサービス事業という原点に立って、発売を拡大していく必要がある。</p>	<p>・競馬事業の更なる発展及び馬産地の活性化に向け、積極的な発売拡大と経営の合理化を進め、収支構造の安定化に努める。</p> <p>・平成28年(2016年)3月に策定した「第2期北海道競馬推進プラン」を着実に推進し、安定した収支構造の確立に向け、魅力ある番組づくり、レース情報の積極的な発信を行い、道内はもとより道外やインターネット発売の拡大を図る。</p>	H30	28,649,312
		R1	29,555,213
		R2	36,765,397

項目	政策体系	国の役割・取組等	道の役割・取組等	市町村の役割・取組等	民間等の役割・取組等
	2(1)A		・ホッカイドウ競馬推進に関する全体調整など		・ホッカイドウ競馬開催に関する運営など

施策のイメージ



令和2年度 基本評価調書

施策名	道営競馬の推進	施策コード	06 - 07
-----	---------	-------	---------

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
--------------------------------	-----------------

今年度の取組

1-2 取組の結果

政策体系 及び 関連計画等	今年度の取組	実績と成果、新型コロナウイルス感染症の影響等	道民ニーズを 踏まえた対応
2(1)A	<ul style="list-style-type: none"> ○JBC2歳優駿の開催 ○特別区競馬組合(大井競馬)とのJBC共同開催による連携強化 ○本賞金引上げなど報償費の見直し ○重賞競走の新設、格付変更(格上) ○門別競馬場施設の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・JBC2歳優駿の開催及び特別区競馬組合との連携強化については、11月3日のJBC競走開催に向けて、連携した番組・広報展開を進めている。 ・本賞金引上げなどの報償費の見直し及び重賞競走の新設・格付変更を行い、開幕当初から競走数を確保し、発売額が大きく向上した。 ・門別競馬場施設の整備を現在実施しており、今秋完成予定(スタンド改修、パドックビジョン設置等) 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道地方競馬運営委員会における委員からの主な意見(R2.2) ・JBC2歳優駿の開催が山場。全国の皆様に知ってもらえるようなPRをしてほしい。 ・老朽化してきている競馬場施設の整備をお願い。
—			
2(1)A		<p>【国費予算の提案・要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方競馬全国協会や全国公営競馬主催者協議会を通じ、必要な課題解決に向けた要請等を国(農林水産省)や日本中央競馬会に対し実施。 JRAインターネット投票の発売拡大 地方公共団体金融機構納付金制度の廃止 等 	

2 連携の状況

2-2 連携の取組状況

連携種別 (政策体系)	連携内容	連携先		取組の実績と成果、新型コロナウイルス感染症の影響
		施策コード	関係部・関係課	
施策・部局 —	ホッカイドウ競馬の開催期間中に日高振興局(農務課)と連携し、門別競馬場内でのイベント「ひだか特産市」を開催し、馬産地である日高管内の特産品や観光PRなどの取組を実施	—	日高振興局産業振興部農務課	《新型コロナウイルス感染症の影響等》 門別競馬場の観客を対象として実施予定であったが、無観客開催となったため、取組が未実施。
地域・民間	企業等と連携したイベント(企業デー)を実施 ・門別競馬場でのコラボイベントの開催 ・イベント当日の競走を全て企業イメージを発信する競走名として実施		(株)AIRDO、(株)コンサドーレ、ホクレン農業協同組合連合会、レバンガ北海道	・企業と連携した企業デーを実施。(R2.6.17 AIRDOサンクスデー) ・企業イメージを発信する競走名の実施やWEBプレゼントイベントを実施。 《新型コロナウイルス感染症の影響等》 企業デーのコラボイベントを競馬場で予定していたが、無観客開催となったため、場内イベントが未実施。
地域・民間	ホッカイドウ競馬の支援企業が連携した競走・イベントを実施 ・「道産子企業北海道競馬応援賞」の実施 ・協賛企業の商品等のプレゼント抽選会の実施		(株)AIRDO、サッポロビール(株)、ポッカサッポロ北海道(株)、(株)コンサドーレ、ソメスサドル(株)、ホクレン農業協同組合連合会、雪印メグミルク(株)、(株)レバンガ北海道	《新型コロナウイルス感染症の影響等》 支援企業連携競走・イベントを競馬場で予定していたが、現在のところ、実施については未定。
地域・民間	「北海道競馬缶」(サッポロビール黒ラベル限定商品)を発売		サッポロビール(株)	・ホッカイドウ競馬のほか、JRA札幌競馬場、ばんえい十勝を含めた「北海道ミライ競馬缶」を令和2年5月19日に発売した。

令和2年度 基本評価調書

施策名	道営競馬の推進	施策コード	06 - 07
-----	---------	-------	---------

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定

(H:平成、R:令和、大文字は年度、小文字は暦年)

3-2 成果指標の達成度合

他① 指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		評価年度	H29	H30	R1	達成度合の分析ほか
	競馬事業の収支	基準年度	H26	年度	R2	最終年度	R2	達成度合	A	A	
	基準値	0円<	目標値	0円<	最終目標値	0円<	年度	R1	R2	進捗率	【内的要因】 特になし 【外的要因】 ホッカイドウ競馬本体での発売増により、R1年度における単年度収支が14億3千4百万円の黒字となった。
【指標の説明】 第2期北海道競馬推進プランに基づき、単年度収支の黒字運営を継続する。	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値	0円<	0円<	0円<	
【アウトカム指標】 競馬事業の持続的な発展と馬産地の活性化に資する事業を展開する観点から指標として設定。	第2期北海道競馬推進プラン		2(1)A	維持	収支が0円以上であれば、達成率100%		実績値	14.34億円	-	14.34億円	
							達成率	100.0%	-	100.0%	

● 本施策に成果指標を設定できない理由

● 達成度合について

達成度合	A	B	C	D	-
直近の成果指標の達成率	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可

令和2年度 基本評価調書

施策名	道営競馬の推進	施策コード	06 - 07
-----	---------	-------	---------

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領別紙様式1)

4 事務事業の設定

整理番号	政策体系	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの 繰越事業 費(千円)	令和2年度					フル コスト (千円)
						事業費 (千円)	うち 一般財源	執行体制			
		本庁	出先機関	人工計							
0201	2(1)A	北海道地方競馬特別会計	・ホッカイドウ競馬の開催	競馬事業室	0	36,765,397	0	7.0	0.0	7.0	36,820,837
0202	2(1)A	競馬事業室総合調整等事務	・課内における管理・監督事務	競馬事業室	0	0	0	1.0	0.0	1.0	7,920
計					0	36,765,397	0	8.0	0.0	8.0	

令和2年度 基本評価調書

施策名	道営競馬の推進	施策コード	06 - 07
-----	---------	-------	---------

Do & Check 施策評価 一次政策評価結果(各部局等による評価)

5 一次政策評価結果と翌年度に向けた対応方針等

(1)成果指標の分析

政策体系	達成度合の集計					判定	成果指標の分析
	A	B	C	D	-		
	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可		
2(1)A	1					A・B指標のみ	<競馬事業の収支【A】> ・ホッカイドウ競馬本体での発売増により、R1年度における単年度収支が14億3千4百万円の黒字となった。
						-	
						-	
計	1	0	0	0	0	A・B指標のみ	

(2)取組の分析

基準1 (施策の推進に当たり対応すべきもの)		対応している (○→対応している) (△→コロナの影響)	理由
1	計画した取組を着実に進め、かつ社会情勢や道民の要請等を踏まえた課題等に対応しているか	○	「第2期北海道競馬推進プラン」を平成28年(2016年)3月に策定し、プランの進捗状況を管理し、ホッカイドウ競馬の推進に向けた取組を着実に推進しており、北海道競馬運営委員会を通じ、道民意見を踏まえ課題解決に対応している。
基準2~4 (施策の推進に当たり取組が認められる)		取組がある (○あり→取組がある)	取組があるとする理由(新型コロナウイルス感染症の影響で取組がない場合は理由を記載)
2	施策の推進に当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか	○	地方競馬全国協会や全国公営競馬主催者協議会を通じ必要な課題解決に向けた要請等を国(農林水産省)に対して実施(地方競馬活性化計画に基づく補助事業の継続など)しており、状況の進捗が認められる。
3	道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立っているか	○	北海道地方競馬運営委員会などを通じ、道民意見を聴取しており、施策の改善に役立っている。
4	施策の推進に当たり、他の施策・部局との連携や地域・民間との連携・協働による成果を確認できるか	○	支援企業による協賛競走などで、企業との連携による成果が確認できる。 新型コロナウイルス感染症の影響等のため、日高振興局や企業と実施するイベント等が実施できなかった。
判定	・基準1が「○」で、かつ基準2~4のうち1つ以上に「○」がある→ a ・基準1が「○か△」ではない、又は基準1は「○か△」だが基準2~4に1つも「○」がない→ b ・基準1が「△」で、かつ基準2~4のうち1つ以上に「○」がある→ c		a

令和2年度 基本評価調書

施策名	道営競馬の推進	施策コード	06 - 07
-----	---------	-------	---------

Action 施策・事務事業評価

7 評価結果の反映

(1) 一次政策評価結果への対応

対応方針 番号	対応	事務事業
①	<新たな取組等> ・「第2期北海道競馬推進プラン」を着実に推進し、競馬事業の持続的発展と経営体質強化のため、顧客の拡大に取り組むとともに、強い馬づくりと魅力ある番組の提供、施設の整備を行い、一層の発売拡大と競馬事業の安定化を図る。	

(2) 二次政策評価結果への対応(付加意見への対応状況)

<意見区分： 施策目標の達成状況・事務事業の有効性>

	対応方針 番号	事務事業 整理番号	事務事業名	各部局の対応(令和3年3月末時点)
施策 事務事業	I			

<事務事業評価 意見区分： 前年度評価結果への対応など>

	対応方針 番号	事務事業 整理番号	事務事業名	各部局の対応(令和3年3月末時点)
事務事業	I			
	II			

(3) 事務事業への反映状況

方向性	拡充	改善	縮小	統合	廃止	終了	合計
反映結果							0

次年度新規事業 (予定)	0
-----------------	---

事務事業 整理番号	事務事業名	一次政策評価におけ る方向性(再掲)	次年度の方向性 (反映結果)